

令和5年度

こども園の自己評価表

吉野川市立鴨島東こども園

【評価対象期間】

令和5年4月1日から令和6年2月29日

【評価責任者】

吉野川市鴨島町牛島888番地1
吉野川市立鴨島東こども園

管理者 岡田 佳明

こども園における自己評価の結果

A: たいへんよい
 B: よい
 C: 一部検討を要する
 D: 改善を要する

項 目

◎ 保育・教育の計画の編成と実施に関する評価

項目	内 容	評 価				意見・改善策
		A	B	C	D	
保育・教育目標について	(1) 保育目標の具現化に向け、乳園児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。	○				「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」に基づき、0歳から小学校就学前までの園児一人一人の発達段階を踏まえた教育・保育に連続的・一体的に取り組んでいる。全体的な計画や年間指導計画を基本とし、週案・月案を作成し、園児の理解を深めたり、保育・教育を振り返ったりしている。また、積極的に研修を受け、取り組むべき課題に関して共通理解を図っている。 コロナが5類になり、近隣の小学校との交流や地域との交流を再開し、できる範囲での取り組みを行った。今後も交流しやすい地域の特色を活かし連携を図りながら、交流を促進していきたい。 保護者には、重要事項に関する説明書や園だより等で園の方針や目標を伝え理解を促している。こども園アンケートで得た保護者の意向等も反映し、こども園の全体的な保育・教育計画を必要に応じて見直し、職員が協力して目標に向かって取り組んでいけるよう心掛けている。
	(2) 目標は、各施設や地域の特色を活かしているか。		○			
	(3) 目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか。		○			
	(4) 目標は、前年度の反省を活かし全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。	○				
保育・教育について	(1) 指導計画は乳園児の実態に即して作成しているか。	○				職員は、全体的な計画や年間指導計画を基本とし、月及び週の指導計画を作成し、園児の理解を深めたり、保育・教育を振り返り自己評価を行い、今後の保育に活かすように努めている。 0歳児や1歳児、個別に支援が必要な園児について、一人一人の記録や個別の支援計画を立案し、一人一人の個性に応じた保育・教育ができるよう配慮している。
	(2) 環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか。		○			
	(3) 素材・用具を適切に活用しているか。		○			
	(4) 評価結果を基に、保育の改善に努めているか。	○				
日時程	(1) 1日の流れ(デイリープログラム等)は現行でよいか。	○				年齢による発達に即したプログラムであり、園児の興味関心を大切にしながら、必要に応じて柔軟に対応している。
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。		○			年度初めに職員会議で行事や担当職員を決めている。担当職員は前年度の行事記録を振り返り、計画を立案し、職員間で共通理解を図りながら取り組んでいる。また、今年度からコロナが5類となり、園児が行事に参加する機会が増えたことで、いろいろな体験をすることができた。運動会等の保護者参加の行事については保護者会で協議を行い、アンケートを実施したうえで行事を行った。今後もよりよい運営ができるようにしていきたい。
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分活かしているか。	○				
	(3) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。	○				
	(4) 保護者の願いや意見を取り入れているか。		○			

◎ 保育の計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価

項目	内 容	評 価				意見・改善策		
		A	B	C	D			
経 営 ・ 組 織	分 掌 ・ 体 制	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。		○			職員配置を工夫し、協力できる体制づくりを実施している。シフト勤務のため、各クラスが連携を図りながら、保育・教育を進めている。日々の職員配置は全職員が把握できるように所定の場所に掲示している。そして職員の協力体制を基に、仕事の分担・割り当てを行い、適正な保育・教育を実施している。	
		(2) 職員の配置は適材・適所か。		○				
		(3) 係や仕事の分担・割り当ては適切か。	○					
	運 営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。	○				職員会議を定期的に行い、情報交換や共通理解を図っている。会議内容は記録し、会議に出席している職員が各クラスの職員・フリーの職員に周知している。	
		職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。	○					
	年 齢 別 ・ ク ラ ス 経 営	(1) 年齢・クラス別目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定しているか。	○				幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づき、保育・教育内容に関する全体的な計画を作成している。各クラスの指導計画は全体的な計画に基づき週案・月案を立案している。計画の中では前月の園児の姿を記入し、乳幼児の実態に即して設定している。 また、同年齢及び異年齢児間において、常に連携を図りながら、保育・教育を行っている。各計画・記録は定期的に提出したうえで実施している。	
		(2) 年齢別・クラス目標は、乳幼児の実態に即して設定しているか。	○					
		(3) 同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか。		○				
		(4) 評価、資料(諸記録)を集積しているか。		○				
	組 織	保 健 ・ 安 全 指 導	(1) 年齢別・クラス経営に活かされるような具体的保健対策を講じているか。	○			年度初めに年間の避難訓練(火災・地震・水害・不審者対応)を計画し、それに基づいて月に1度実施している。実施後は各クラスごとに訓練の振り返りを行い、次回の訓練に活かすことができるようにしている。年2回は消防署と連携を図り、訓練を行っている。 交通安全指導については、今年度は小学校の交通安全教室に参加した。そして、その経験を基に異年齢児に横断歩道の渡り方等を教える。また保育活動の中で行う園外保育や毎朝の立哨等を通して安全確認の大切さや通行の仕方等を指導している。 園児の健康管理は、送迎時等に保護者と連絡を密にとるようにしている。感染症予防対策を年齢に応じて行い、うがい・手洗いの励行を行っている。 教室等は換気・消毒等を十分に行っている。感染症発生状況は掲示して知らせたり、ほけんだよりで啓発したりしている。	
			(2) 避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。	○				
			(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。		○			
情 報 に つ い て	(1) 乳幼児や保護者に関する個人情報を通正に取り扱っているか。	○				個人情報保護に基づき、職員は守秘義務を遵守している。個人情報が含まれる書類等の取り扱いについては、情報が見えないように十分配慮し、管理や処理を行っている。公文書收受、発送等は適切に処理している。		
	(2) 公文書收受、発送、処理を適切に行っているか。	○						
施 設 ・ 設 備	(1) 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。	○				建設・設計業者による施設や遊具の定期点検を行っている。月に1回、職員による施設や遊具の点検も行い、気になる箇所については適宜修繕している。 不審者対応では、事務所のモニターを通して園周辺の状況を確認している。送迎時に保護者に保護者証を携帯してもらい、職員が送迎する保護者の確認を行っている。 掲示物について、パーティション等を有効に活用し、送迎時に保護者が見やすい場所(園舎中央部)に設置するようにしている。 感染症の発生状況は専用ボードにクラスごとの状況をお知らせしている。マチコミメールも積極的に利用している。		
	(2) 遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管しているか。		○					
	(3) 不審者等に対応する周到な配慮を行っているか。		○					
	(4) 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。		○					
出 納 経 理	(1) 保護者会会計を適正かつ適切に処理しているか。	○				保護者会役員会において、予算案、会費の利用状況を説明している。保護者会監事に監査を受けて適正に処理している。		

項目	内容	評価				意見・改善策	
		A	B	C	D		
開かれたことも園づくり	施設間交流・連携	(1) 他施設等の幼児児童生徒と触れ合う中で、(乳)幼児が楽しく過ごし充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか。			○		今年度小学校の協力もあり、数名の職員が学校を訪問し、授業見学をすることができ、今後の保育の参考となった。 また、いろいろな年齢が小学校と交流をすることができ、よい経験となった。5歳児は体験入学をすることができ、小学校の雰囲気味わうことができた。 中学校とは職場体験等、交流の機会をもつことができた。 今後も地域の学校と連携しながら、交流活動を促進していきたい。
		(2) 参観や保育・授業等に参加するなどして、小学校の教育を理解しているか。		○			
		(3) 日常的に情報を交換し、それを交流活動に活かしているか。		○			
	家庭・地域社会との連携	(1) 参観時間を制限せず、保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか。			○		保護者以外を対象とした参観は安全面やプライバシー等の観点から実施は難しいと考える。今年度、保育参観については一日で実施した。地域の人材活用や地域社会・他の施設との交流、地域の行事等の参加については、公民館祭に作品展という形で参加した。また、地域の方からさつまいも等の収穫や植え付けをさせていただいた。今後も交流の仕方を工夫し、様々な人々と関わる機会を増やしていきたい。
		(2) 保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か。			○		
		(3) (乳)幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。		○			
		(4) 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。	○				
	子育て支援の推進	(1) 地域の子育てセンターとして、園庭や中庭、保育室等を開放しているか。		○			子育て支援室を週3回開いており、地域の保護者が乳幼児と一緒によく利用している。また、定期的に育児疲れ等で一時預かり保育の利用も多かった。園庭開放は例年どおり実施でき、利用者も少しずつ増えてきている。職員による子育て相談は、市保健師や市栄養士なども来園し定期的に行っている。専門機関とは連携を密に行っており、今後も保護者にとって必要な情報が得られるよう協力していきたい。
		(2) 「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。			○		
		(3) 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。		○			
		(4) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。	○				
	情報の発信	(1) こども園だより・ドキュメンテーション、ホームページ等で施設の情報を発信しているか。		○			毎月の園だよりで、行事予定や年齢ごとの保育・教育目標を伝えている。必要に応じてマチコミメールで情報提供をしている。 園での保育・教育活動等については各クラス前に活動の様子を写真で掲示し、知らせたりしている。小学校等に対して、発信の方法について今後、検討していきたい。
		(2) 行事や子育て支援事業等を、地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。			○		
	外部評価	(1) 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。			○		第三者評価については、今後導入していかなければいけない課題である。 第三者委員の主任児童委員には園に来ていただき、施設の見学や運営状況について説明を行った。今後は行事等の参観なども計画的に実施していきたいと考えている。 保護者にはこども園アンケートを行い結果を知らせている。園に対する様々な意見を真摯に受け止め、改善すべきところは改め、次年度に活かせるよう取り組みを進めていきたい。
		(2) 地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか。		○			